

剣道コーチ1 資格概要

2019年4月1日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 一般財団法人全日本剣道連盟	
養成目的		地域において、剣道の実践的指導にあたっている指導者の資質の向上を図り、剣道をより充実し、正しく普及発展させるための指導者に必要な知識・能力を養成する。	
役割		剣道活動を実施している学校・道場・クラブ・グループ・スポーツ教室において、剣道の基礎的な技術・体力・知識を修得するための指導にあたる。	
養成講習会に係る内容	受講条件	受講年度の4月1日現在満20歳以上(原則)で、剣道三段以上の者。	
	受講科目	共通科目	共通科目 I (45h)
		専門科目	剣道コーチ1専門科目(44h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目 I : 19800円(税込)※別途リファレンスブック代: 1500円(税抜)
		専門科目	専門科目: 別途定める
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
専門科目		<p>■講習会 カリキュラムに基づき、全日本剣道連盟が主催し、集合講習会と通信講習(課題論文提出)により開催する。</p> <p>■検定試験 全日本剣道連盟社会体育指導員委員会が作成・出題し、筆記試験、論文評価、技能検定の総合判定とする。</p> <p>■審査 筆記試験、論文評価、技能検定の総合判定結果を基に、全日本剣道連盟社会体育指導員委員会委員及び専門分野講師で総合判定会議をにおいて合否を決定する。7試験を5段階評価し21点以上を合格とする。</p> <p>■免除要件 1. 全日本剣道連盟社会体育指導員の資格を有する者は、コーチ1の専門科目の講習・試験の全てを免除する。 2. 剣道教士八段以上の者は、コーチ1の専門科目の一部を免除する。 3. 70歳以上で更新講習会を一回以上受講した者は、コーチ1の専門科目の一部を免除する。</p>	
登録に係る内容	登録料 (4年間)	基本登録料: 10,000円	
		資格別登録料: 0円	
		初期登録手数料(初回登録時のみ): 3,000円	
更新登録要件	資格有効期限の6か月前までに、全日本剣道連盟が行う全日本剣道連盟社会体育指導員養成講習会(初級更新)を受けなければならない。		
特記事項			

公認剣道コーチ1

2019年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 種目の特性に 応じた基礎理論	①	剣道指導の心得、指導法(個人・集団指導法)	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	②	剣道の特性	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	③	剣道の歴史	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	④	剣道の安全対策(安全と衛生管理、障害疾病の観察と対処・アンチドーピング)	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑤	体カトレーニング理論(剣道に必要な基礎的筋カトレーニング論)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑥	剣道のルールと審判法の理解(旗の操作方法を含む)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑦	剣道理論の評価	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	小 計			9.00 h	0.00 h
② 実技実習	①	日本剣道形の指導法及び指導効果の評価	3.00 h	3.00 h	6.00 h
	②	剣道の基本技術指導法及び評価	6.00 h	6.00 h	12.00 h
	③	試合・審判実習及び評価	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	④	現場での応急処置(心肺蘇生法)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑤	剣道の技術・体カトレーニング	4.00 h	0.00 h	4.00 h
	小 計			17.00 h	9.00 h
③ 指導実習	①	剣道の個人指導法(基本技術の指導)	0.00 h	2.00 h	2.00 h
	②	剣道の集団指導法(指導形態・運営法の実践と工夫)	0.00 h	2.00 h	2.00 h
	③	対象別指導法(初級者に興味を持たせる指導法)	0.00 h	2.00 h	2.00 h
	④	剣道着・剣道具に関する事項と初歩的基本技術	0.00 h	2.00 h	2.00 h
	⑤	通信教育課題評価	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	小 計			1.00 h	8.00 h
			27.00 h	17.00 h	44.00 h

※1
※1

※2
※2
※2
※2

※1 免除(その他)
※2 通信(その他)